

特集

令和6年度

生活や経済の活性化へ 向けて一歩を踏み出す 当初予算

令和6年度の当初予算が決まりました。一般会計では、地域コミュニティの活性化や平和文化の振興、公共交通の充実強化、子ども・子育ての支援などの重要課題に積極的に取り組みます。

図財政課(☎504-2075、☎504-2099)

市HP ページ番号 369401



予算の規模

| | | |
|--------|---------------|--------------|
| 一般会計 | 6845億4365万円 | (対前年度2.2%増↑) |
| 特別会計*1 | 4118億1371万円 | (同3.4%増↑) |
| 企業会計*2 | 1455億9560万円 | (同1.4%減↓) |
| 全会計 | 1兆2419億5296万円 | (同2.2%増↑) |

※1「特別会計」は、保険料などの特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。市には、国民健康保険や介護保険など20の特別会計があります

※2「企業会計」は、民間企業と同じように、主にサービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。市には、水道、下水道、安芸市民病院の3つの企業会計があります

一般会計は政令市移行後、最大規模に

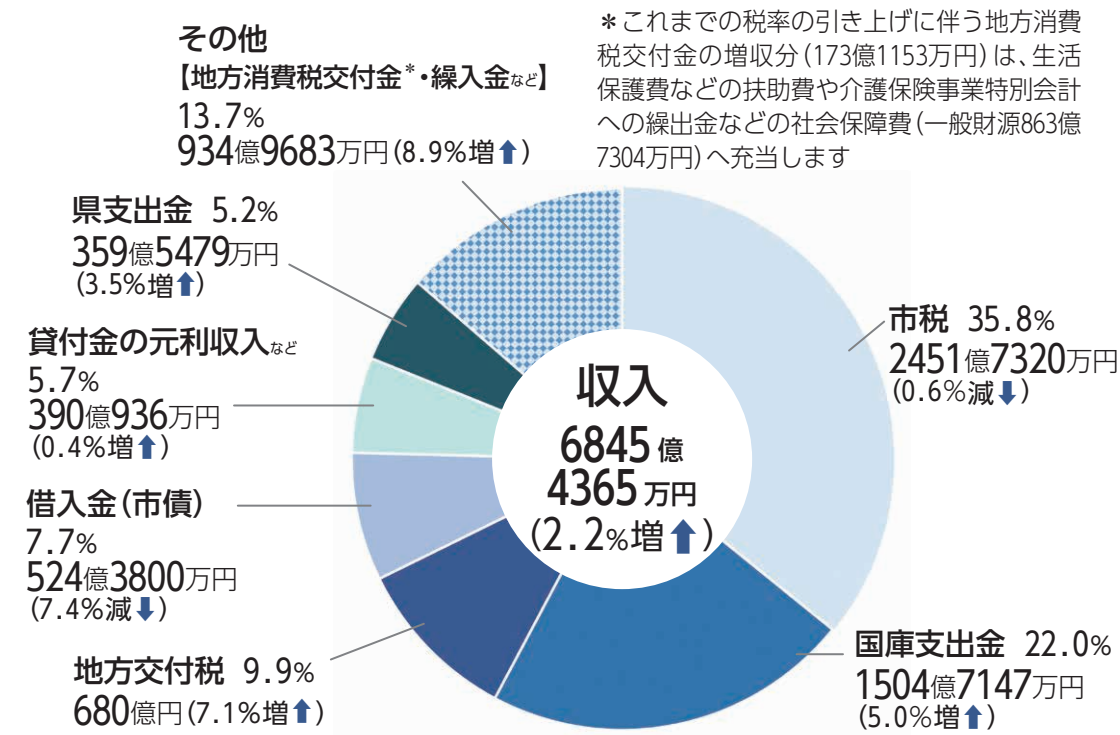
一般会計の総額は、前年度当初予算より2.2%増で、2年連続のプラス予算となりました。主な要因は、児童手当の拡充や障害者自立支援などで社会保障費が増えたこと、人件費の増加などです。

特別会計は、公債管理特別会計の増などにより、対前年度3.4%の増、企業会計は、下水道事業会計の減などにより、対前年度1.4%の減となりました。

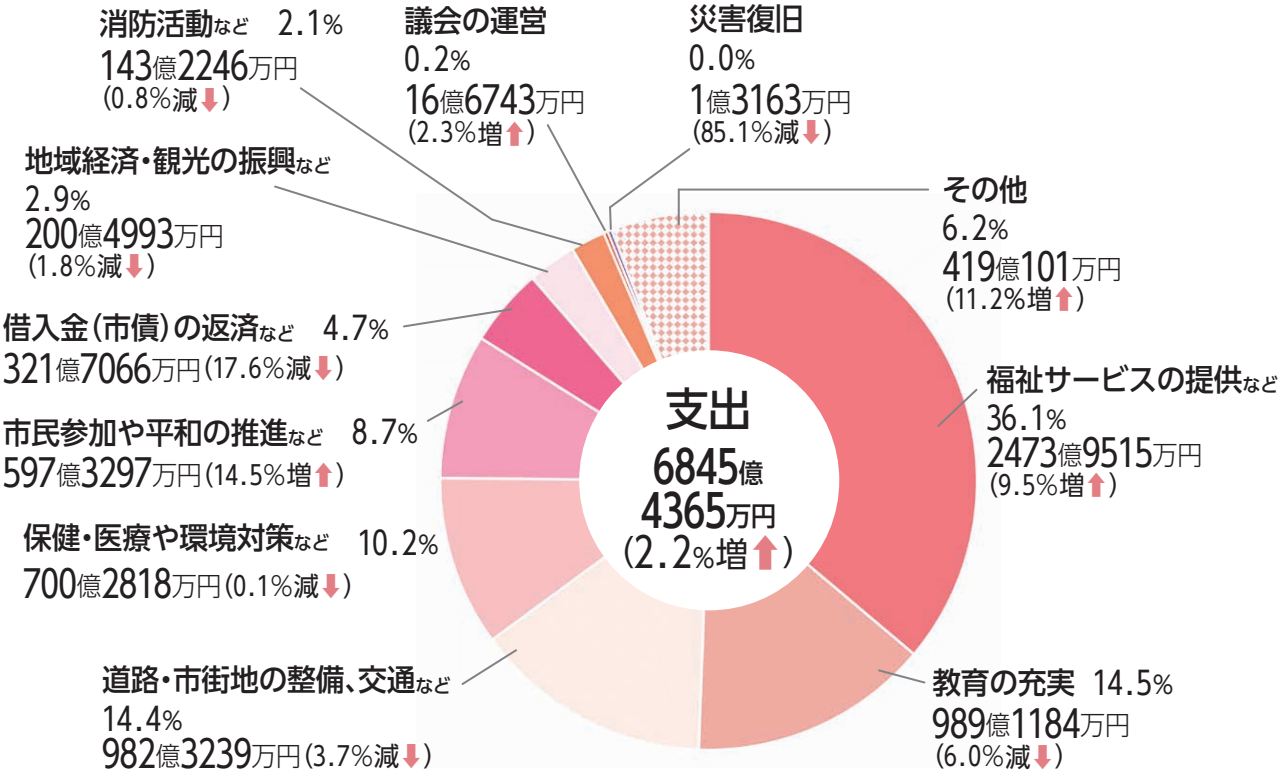
全ての会計を合わせると、対前年度2.2%の増になりました。

一般会計の内訳

()は対前年度増減率

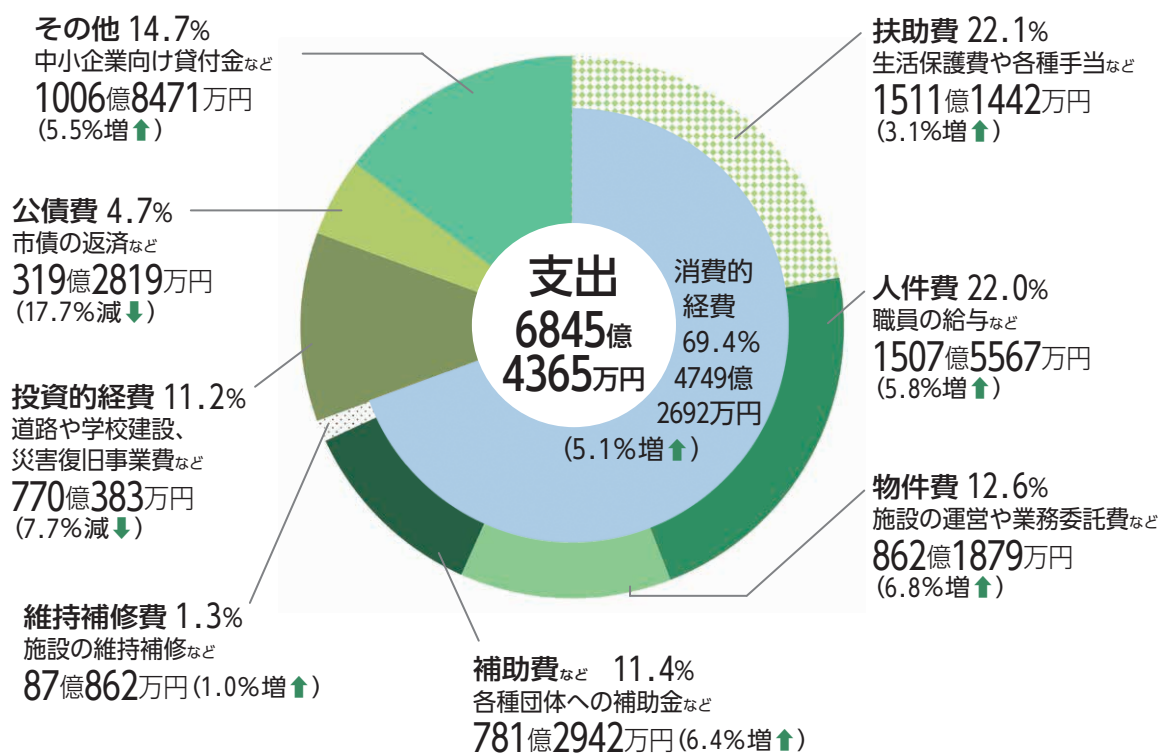


*これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(173億1153万円)は、生活保護費などの扶助費や介護保険事業特別会計への繰入金などの社会保障費(一般財源863億7304万円)へ充当します



性質別に見た広島市の支出

()は対前年度増減率



市民1人当りに換算

すると予算約58万1400円(対前年度1万5500円増↑)

一般会計予算6845億4365万円を市の人口117万7498人(令和6年2月末)で割って計算しました。100円未満は端数処理しています。



南工場の建て替え(保健・医療や環境対策など)



広島駅南口広場の再整備(道路・市街地の整備、交通など)

| 項目 | 予算額 | 対前年度 |
|--------------|----------|-----------|
| 福祉サービスの提供 | 約21万100円 | 1万9100円増↑ |
| 教育の充実 | 約8万4000円 | 4,900円減↓ |
| 道路・市街地の整備、交通 | 約8万3400円 | 2,800円減↓ |
| 保健・医療や環境対策 | 約5万9500円 | 300円増↑ |
| 市民参加や平和の推進 | 約5万800円 | 6,700円増↑ |
| 借入金(市債)の返済 | 約2万7300円 | 5,700円減↓ |
| 地域経済・観光の振興 | 約1万7000円 | 300円減↓ |
| 消防活動 | 約1万2200円 | 増減なし→ |
| 議会の運営 | 約1,400円 | 増減なし→ |
| 災害復旧 | 約100円 | 600円減↓ |
| その他 | 約3万5600円 | 3,700円増↑ |



中央図書館などの移転整備(市民参加や平和の推進など)



サッカースタジアムと周辺の整備(道路・市街地の整備、交通など)

財政運営方針を策定しました

持続可能性の確保と本市の魅力づくりを進めるため、新型コロナウイルス感染症や物価高騰による市民生活や経済活動への影響を踏まえつつ、次の3つの基本方針に基づき財政運営を行っています。

基本方針

1都市としての活力を生み出す財政運営

2まちづくりを支え続けることができる財政運営

3将来のまちづくりを見据えた財政運営

計画期間

令和6年度～9年度の4年間

計画期間内の目標

1収支の均衡
高齢化の進展などに伴い社会保

障費が増加するなど、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれますが、各年度において歳入確保・歳出削減に努め、計画期間における収支の均衡を図ります。

財政調整基金は、期間末において現状を上回る残高を確保することで、期間終了後も安定的な財政運営が行えるようにします。

2市債残高の抑制

臨時財政対策債[※]などを除いた市債残高は、期間末において現状を下回る残高とすることで、将来世代の過度な負担とならないようにします。

※臨時財政対策債とは、地方交付税の不足を補うために、国が市に発行させる市債です

3つの柱に沿ったまちづくり

新年度予算に基づき、今後50年、100年先の持続的な発展に向け、市総合計画に掲げた3つの柱に沿ったまちづくりを進めます。

総合計画について詳しくは

市HP ページ番号 213450



また、市はこれまで核兵器のない世界の実現に向けて、平和文化の振興を図るための取り組みを進めてきました。令和7年に被爆80周年を迎えるに当たり、取り組みをより一層推進するため、令和6年度から記念事業を実施します。

世界に輝く平和のまち

昨年5月のG7広島サミットの開催で、国際的にさらに高まった市の知名度を生かしながら、平和首長会議に加盟する国内外の都市と共に「平和文化」を振興し、被爆80周年となる来年に向け、平和を願う市民社会の総意が世界中の為政者の心に届くような環境づくりを目指します。

AI・VRを活用した被爆体験の継承などにより、被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくりに取り組みます。

主な施策

- 平和首長会議の活動展開…………… 1761万円
- 第13回平和首長会議理事会の開催…………… 894万円
- 国連ユース非核リーダー基金プログラムへの協力…………… 132万円
- 若者による「ヒロシマの心」の発信…………… 165万円
- 旧広島陸軍被服支廠の保存・継承…………… 1億7451万円
- 広島大学本部跡地における平和に関する「知の拠点」の整備…………… 1909万円

◆被爆80周年記念事業

- 「平和記念都市広島誕生」の編集・発行…………… 148万円
- 第11回平和首長会議総会の開催準備…………… 63万円
- AI・VRを活用した被爆体験の継承…………… 159万円
- 平和記念資料館の混雑対策…………… 7871万円
- 復興の都市計画についての企画展の開催準備…………… 535万円

国際的に開かれた活力あるまち

国内外から多くの人を引き付け、市域を超えて活力とにぎわいを生み出すため、工事で再開発事業を着実に進めます。

若者と被爆者をホノルルに派遣し、未来志向の交流を促進します。

まちの姿を通した平和への願いの発信として、戦災復興期に建設された西平和大橋の北側に歩道橋を新設します。

主な施策

- 基町相生通地区市街地再開発事業の推進…………… 7億8051万円
- サッカースタジアム建設の推進…………… 4億7206万円
- 西風新都の都市づくりの推進…………… 21億4630万円
- 乗合バス事業の共同運営システムの構築…………… 1億2701万円
- 大阪・関西万博に向けた関西圏バイヤーとの商談会など…………… 344万円
- 若者による相互理解・交流促進事業…………… 925万円
- 比治山公園「平和の丘」に係る取り組みの推進…………… 1億678万円

◆被爆80周年記念事業

- ピースツーリズム推進事業…………… 96万円
- 広島・長崎連携観光キャンペーン事業…………… 500万円
- 西平和大橋歩道橋の整備…………… 4300万円

文化が息づき豊かな人間性を育むまち

中央図書館などの移転整備や、郷土の文化と歴史の専門図書館としての浅野文庫などの施設整備を進めます。

多子世帯の保育料等の負担軽減
複数人の子がいる世帯の、保育料・副食費(おかず代など)の負担を軽減するため、保育園などへの同時入所要件を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料・副食費を無償にします。

主な施策

- 中央図書館などの移転整備…………… 54億4304万円
- 浅野文庫などの施設整備…………… 965万円
- 第2回ひろしま国際平和文化祭の開催…………… 1億4283万円
- 広島城の魅力向上…………… 7億9153万円
- 広島西飛行場跡地へのスポーツ施設の整備…………… 3億5280万円
- 湯来地域におけるスポーツと温泉の連携施策の推進…………… 8748万円
- 地域コミュニティの活性化の推進…………… 3億3534万円
- タバコ対策懇談会の開催…………… 485万円
- 障害者や家族からの相談を受ける支援専門員の増員…………… 1億9366万円
- 公立認定こども園の整備…………… 1億5346万円
- こども医療費補助(通院の補助対象年齢を拡大)…………… 25億9619万円
- 医療的ケア児の通学支援モデル事業…………… 411万円